



IP News

国際会長ニュース

2023年6月号



国際会長メッセージ

皆さん

6月末でワイズメンズクラブ国際協会(YMI)の年度が終了し、多くのリーダーが新たなスタートを切ります。私のスローガンは「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」です。YMIでは全員がコミュニケーションに頼って、コミュニケーション・ツリー(下の図)は、組織という枠組みの中で、お互いにどのように話をするのかを決めるのに役立ちます。すべてのリーダーは、この図を知っておくべきです。この図の中で、根この部分はクラブのメンバーです。彼らは木の残りの部分に「栄養を与える」存在です。しかし、木が健全であるためには、上からの太陽と雨(インスピレーションとモチベーション)の適切なバランスが必要です。木の各部分には重要な役割があるのです。コミュニケーションは一方通行ではありません。

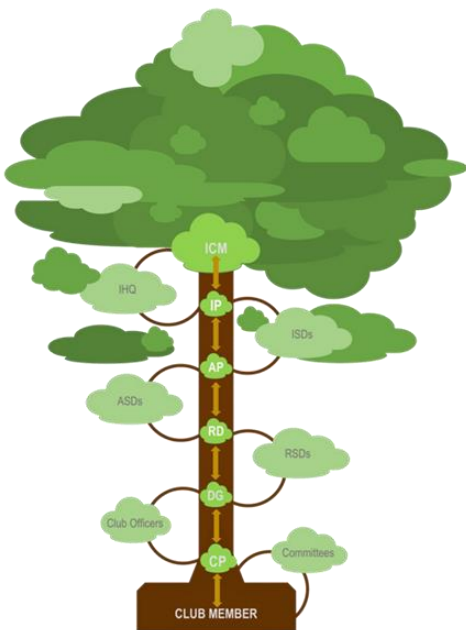
幹や枝は、根から水や栄養を送り込む役割を担っています。葉は太陽の光を集め、根から供給された水や栄養をエネルギーに変えて木を成長させます。これをYMIの構造に置き換えてみると、部、区、地域のリーダーは、クラブから提供された基本的な栄養を上レベルに送り出す責任があると言えます。そして、その結果生まれたエネルギーや力を、また連鎖的に広げていかなければなりません。YMIでは、葉が事業主任、委員会、タスクフォースを表しています。選ばれたリーダーのサポートを通じてクラブからの意見を集め、それを自らの能力とアイデアと組み合わせ、私たちの運動に活力を与え、前進させるのです。

時には枝が折れたり、葉が落ちたりすることもあります。これは普通のことであり、予想されることです。YMIでは、リーダーシップは定期的に変化します。しかし、クラブの強さは、移行期や再編成の時期にも私たちを支えてくれます。クラブは、YMIの完全性を守り、その未来を確かなものにするために必要な要素を提供します。だからこそ、「クラブは私たちの基盤である」という言葉は真実なのです。

残念ながら、YMIでは、『そんなことは知らなかった』という声をよく聞きます。ですから、より包括的で効果的なコミュニケーションのために努力することを目指さなければなりません。[国際協会のウェブサイト](#)は、YMIのどの人にとっても重要なリソースとなり得ます。親愛なるワイズメン、ワイズウィメンの皆さん、根から頂の葉まで、コミュニケーションチェーンに沿って情報を送り、それを必要とするすべての人がタイムリーに受け取ることができるように、自分の義務を果たしてください。

最後に、私たちのエンブレムには、Yの上に輝くベツレヘムの星が描かれていることを思い出して、このメッセージを締めくくります。

YMIクラブメンバーの皆様には、ご自分の光を輝かせ、イエス・キリストの価値観を皆さんのすべての行動に反映させることをお願いします。



ウルリック・ラウリドセン
国際会長

国際本部ニュース



国際書記長
ジョース・ヴァルギース

6月はYMIの暦の最後の月です。反省と再生の時です。

この12ヶ月は、YMIの歴史の中で歴史的な時期でした。

3月に台北で開催された記念すべきイベントには、600人以上が集まりました([YMI 100ハイライトビデオ](#))。このイベントでは、インパクト、優れたリーダー、マイルストーンに焦点を当てた100のストーリーを収録した記念のハードカバーの本が配布されました([デジタルダウンロード](#))。ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトの目標であった、ジュネーブにオフィスを持つことが実現しました。これは、100周年を記念して実現したもう一つの大きな成果です。3月末に改装が完了し、スタッフは新しい住所である121 rue de Lausanne, CH-1202 Geneva ([地図](#)) で仕事をしています。なお、eメール、電話番号、ウェブサイトには変更はありません。2023年1月17日に国際会長が辞任したため、リーダーシップの交代を行いました。

YMIの10年計画「[戦略2032](#)」の推進に取り組んでいます。国際憲法と組織構造の近代化を担当するワーキンググループは定期的に会合を開き、7月にナイロビで開催される国際議会で最新情報を発表する予定です。このメッセージを書いている時点で、今年度は83の新しいクラブが設立されました。iGoのインターン3名がワークスタディを終え、成功裏にパイロット期間を終了しました。2023/24年には、スリランカとインドでiGoの機会が予定されています。CPEインスティテュート(次期クラブ会長研修会)チームは、オンラインとハイブリッド両方のプログラムを提案し、6月5日には国際オンラインパイロットセッションを実施します。

今月は、YMCAとの関係、そして「戦略2032」の目標である「協働を通じてミッションパートナーとなる」ことに焦点を当てます。また、YMIはYMCAの[チェンジエージェントプログラム](#)への支援を続け、[ビジョン2030](#)を支援することを検討しています。今月は、カナダ/カリブ海諸国地域、ヨーロッパ地域、インド地域、アメリカ地域が大会を開催しています。私たちは、これらの大会のすべてがうまくいくことを祈っています。

新しいアイデアと新しいエネルギーに触発されて、新しい年度を迎えることを楽しみにしています。7つの議席を女性が占める国際議会は、アイデンティティ、包摂性、そしてイノベーションがキーワードとなる来期を迎えるにふさわしいものです。

編集長から

編集長に、国際会長ニュースに関するあなたの考えやアイデアをお知らせください。

7月は、広報とコミュニケーションの強調月間です。

以下をクリックして、6月10日までに記事をご投稿ください。

[編集長へ](#)



6月: YMCAとの パートナーシップの強調

山田公平

国際YMIリエゾン事業主任

私たちは、設立当初からYMCAのサービスクラブとして活動してきました。100年経った今、私たちはその関係を検証し、YMCA運動のミッションパートナーになるというコンセプトで議論しています。サービスクラブとしてのみ存在するのではなく、共通のサービスミッションを共有するためのさまざまな方法を模索することができます。

社会が大きく急速に変化する中、ユースが将来直面する課題に備えることは、私たちの共通の責任です。それは、仕事上の問題であったり、環境問題であったり、グローバル化した社会での生活であったり、さらには10年以上先には想像もつかないような問題であったりします。

これはYMIだけでなく、YMCAにも共通する課題です。ミッションパートナーである私たちは、青少年のエンパワーメントに効果的な方法を模索する必要があります。その一例として、[「Ys × SDGs ユースアクション」](#)という新しいプロジェクトを紹介したいと思います。これは昨年からはじめたもので、日本全国で10のプロジェクトが実施されました。その多くは、地域のYMCAが共同で支援したものです。これからまた、ユースグループが地域コミュニティで行う新しいプロジェクトもスタートします。

日本全国のYMCA、ワイズメンズクラブ、ユースグループと共同でこれらのプロジェクトを行うことで、私たちはミッションパートナーの役割を果たし、この考えを世界のさまざまな国に広めていくことができます。



3月に台北で開催された国際協会100周年祝賀会にて。国際協会、YMCAのリーダーたち。山田さんは右から4番目



YMCA

ビジョン2030

私たちのとき、私たちの瞬間

ロナルド・タク・ファイ・ヤム

世界YMCA同盟副会長 YMCAリエゾン

「ビジョン2030」:どこに行っても、この言葉はYMCAの口から出てきますし、YMCAの頭の中、心の中、そして今や手の中にあります。

ビジョン2030は実現しつつあります！

2022年7月にデンマークのオーフスで開催された第20回世界YMCA評議会で採択されて以来、私は、この運動が個人的にも集団的にも2030年へのロードマップを受け入れることは著しく加速しているのを見てきました。

「これは、私たちのときであり、私たちの瞬間である」というのが、オーフスで私たちが言った言葉です。私の考えでは、第二次世界大戦以来到達していないレベルまで、YMCAの集団として、世界にインパクトを与えることが、私たちの急務であるとも言えます。なぜなら、世界は変化する必要があり、YMCAもまた、より良い世界の形成に有意義な貢献をしようとするならば、変化する必要があるのであります。

2022年7月以来、私たちは長い道のりを歩んできました。各YMCAは、私たちが共有するグローバル・ビジョンに、新しい計画や既存の計画をどのように合わせるができるかを真剣に問いかけています。2月の調査では、75か国のYMCA同盟で、既に活動しているか、活動する予定であることが明らかになりました。そしてそれは、ローカルレベルでも起こっています。しかし、「ビジョン2030とは何なのか」と問う人もいます。

表面的には... それは、1つの共有ビジョン、1つの共有ミッション、私たちが「インパクトの柱」と呼ぶ4つの共有優先事項です。そして、それぞれの柱に対して、3つの目標を掲げています:

- YMCA内部の目標
- 地域社会への貢献
- 世界の若者が声を上げるためのグローバルなアドボカシー活動



コミュニティ
ウェルビーイング



意義ある仕事



持続可能な地球



正義の世界

インパクトの柱

しかし、その表面の下にあるのは、私たちの運動をより大きなインパクト、より大きな一貫性、より明確なものにするために、運動内の私たち自身に対しても、私たちが共に働く人々、特に外部のパートナーやドナーに対しても、真に共通の目的を持つように設計された史上初のものです。

世界YMCA同盟ソヘイラ・ハイエック会長と私、そして実行委員会の仲間たちは、運動全体の目的と方向性が一致していることを実感しています。その理由を聞いてみました。それは、各YMCAが「システム・チェンジ」を実現することであり、私たちのやり方を変え、世界を変えようとするのだと気づいたからです。それは、私たちを別のリーグ、つまり私たちがプレーすべきリーグに昇格させることなのです。あとは、言葉を行動に移してだけです。

私は、世界YMCA同盟が、アメリカ、カナダ、イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド、ドイツ、フランス、ベルギー、ノルウェー、ケニア、南アフリカ、インド、フィリピン、香港でビジョン2030に関する戦略や計画の討論会にライブまたはオンラインで参加したことを知っています。そして、このビジョンを実現するための具体的な戦略やフレームワークを開発するために、私たちの運動が一丸となることを支援しました。

世界YMCA同盟と地域YMCA同盟そしてビジョン2030の各柱の「チャンピオン」となる選ばれた各国のYMCA同盟が、運動全体をサポートするための「インフラ」を再構築しているのです。

また、意義ある仕事を支援するための世界的な取り組みに資金を提供し、規模を拡大する方法として、史上初のグローバルな「若者の未来」インパクトファンドという画期的なものを含め、内外の財源を動員しています。

戦略的調整、学習と革新、アドボカシーと影響力、資源調達の4つの運動サポートチームとコミュニティ・ウェルビーイング、意義ある仕事、持続可能な地球、正義の世界の4つのピラーチームが、ビジョン2030の実施をサポートする2種類の人材を今後数ヶ月で配置する予定です。

私たちの未来への投資は、今すぐにでも投資することを意味します。世界YMCA同盟は、この活動を実現するために、今後18ヶ月間で150万ドルの資金が必要であると見積もっています。

私たちは、このことが私たちをどこに導くのか、自問自答する必要があります。それは、私たち自身のため、私たちが奉仕する若者のため、そして私たちが共に働く人々のために、私たちが最高の存在にするためです。それは、「すべては一つ」であるというだけでなく、「すべては神によって召かれている」ということでもあるのです。

6月6日に179周年を迎えた私たちの愛するYMCA運動は、ビジョン2030という共通の旅路にあります。

ワイズメンズクラブ国際協会の友人たちに敬意を表し、世界YMCA同盟とYMCA運動全体を代表して、私たちと一緒に旅をしていただける皆さんに感謝の意を表します。



**WORLD
YMCA**

ビジョン2030



過去、現在そして未来

を祝って

ヒストリアン国際事業主任

デビー・レッドモンド



私たちの素晴らしい仕事を、写真とストーリーで記録し続けましょう

私たちはすでに3月に台北で私たちの素晴らしい歴史を祝いましたが、私たちの業績を認識し、将来の計画を立て、成し遂げたことを振り返り、現在進行中の活動を保存し続けることが重要です。

クラブ、区、地域の活動を丁寧に記録する時間を取りましょう。歴史的な文書、奉仕活動のリスト、そして写真を保存することが重要です。また、役職やプロジェクトを他の人に引き継ぐ際にも、その情報を維持しましょう。

クラブが写真や書類の保管を一人の人間に任せてしまうことはよくあることです。バックアッププランはあるのでしょうか？もしその人や保管物に何かあったら、クラブはどうやって未来の会員に歴史を示すことができるのでしょうか。

メンバーの高齢化によって多くのクラブ（そして区さえも）が失われましたが、アイテムが保存されていない限り、その偉大な努力を示すものはほとんどありません。アイテムを保存する方法はいくつかありますが、情報が複数の人に利用可能であるようにしてください。クラブが支援している地域のYMCAや地域の歴史協会など、何らかの文書保管庫に保管したり、デジタル化してクラウドに保存したりすることができます。

国際本部は現在、デジタル記録を受け取るための[オンラインデジタルストレージシステム](mailto:moscholar@gmail.com)を設置しています。登録するには、リンクをクリックしてください。詳細については、moscholar@gmail.com までお問い合わせください。



台湾・台北で2023年3月12-14日に開催された国際次期理事サミットでのデビー・レッドモンド